

# ULXD4/AB ULXD2 使用方法

2022/10/04

## 目次

<b>1</b>	<b>機材の説明</b>	<b>2</b>
1.1	受信機	2
1.2	送信機	4
<b>2</b>	<b>項目の説明</b>	<b>5</b>
2.1	受信機 HOME 画面	5
2.2	受信機 MENU 画面	6
2.2.1	RADIO	6
2.2.2	AUDIO	6
2.2.3	EDIT NAME	7
2.2.4	IR PRESETS	7
2.2.5	TX INFO	7
2.2.6	BATTERY INFO	8
2.2.7	DEVICE UTILITES	8
2.2.8	ENCRYPTION	9
2.2.9	ADVANCED RF	9
2.2.10	LOCK	9
2.2.11	HOME INFO	10
2.2.12	DISPLAY	10
2.2.13	NETWORK	10
2.2.14	TX FW UPDATE	11
2.2.15	SYSTEM RESET	11
2.2.16	VERSION	11
2.3	送信機 HOME 画面	12
2.4	送信機 MENU 画面	13
2.4.1	RADIO	13
2.4.2	UTILITY	14
2.4.3	LOCK	14
2.4.4	BATTERY	15
2.4.5	VERSION	15
2.4.6	RESET	16
2.4.7	MIC OFFSET	16
2.4.8	MUTE MODE	16
<b>3</b>	<b>実際の使用方法</b>	<b>17</b>
3.1	グループ・チャンネルを指定する	17
3.1.1	機材の準備	17
3.1.2	同期作業	20

3.2	周波数を自分で決めて設定する	22
3.2.1	機材の準備	22
3.2.2	同期作業	25
3.3	送信機側でグループ・チャンネル、周波数を変更する方法	27
3.3.1	グループ・チャンネル変更方法	27
3.3.2	周波数の変更方法	30
<b>4</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>32</b>
4.1	音が出ない	32
4.2	音が途切れる	32



# 1 機材の説明

## ULXD4/AB と ULXD2 の説明



図 1: ULXD4/AB 前面

### 1.1 受信機

- ・黄色が電源ボタンになります。  
上になると ON 下になると OFF になります。
- ・水色は GAIN 調整ボタンです。  
このボタンを操作する事で受信機に入力される音量の大きさを調整出来ます。  
最大 42db、最小-18db まで対応可能です。
- ・ピンクは入力されている音量の大きさを示す LED です。  
OL の記載されている部分まで到達すると赤くなり音が割れることがありますので、  
先ほどの GAIN 調整ボタンで調整して頂き良いバランスにしてください。  
音声が入力されると下記写真の様に点灯します。



図 2: ULXD4/AB 前面

- ・グレーは RF メーターになります。  
下の縦に並んだ部分は送信機からの強度を示しています。  
オレンジの数が多いほど電波状況が良いですが赤が点灯しているとオーバーロードなのでどこかに不具合がある可能性が高いので接続などを再度確認してください。  
上の AB の部分は使用しているアンテナの状態を示しています。  
青は正常で、赤が他からの干渉を検出消灯だと接続されてない状況になります。  
A か B どちらかが点灯していないと音声は出力されないのをご注意ください。  
正常な場合は上記写真の様に点灯します。
- ・肌色はコントロールホイールになります。  
押したり、回したりする事で項目の設定や選択ができます。
- ・オレンジは ENTER ボタンです。  
先ほどのコントロールホイールで選択した物を決定する際に使用します。
- ・紫色は EXIT ボタンです。  
何かを選択している際に前の画面に戻りたい時などに使用します。
- ・緑色はスキャンボタンです。  
押すと最適なチャンネルやグループを検出してくれます。
- ・茶色は LCD パネルになります。  
詳細を設定したりする際にこのパネルに内容が表示されます。
- ・黒色は暗号化アイコンになります。  
AES-256 暗号化が有効になっている際は点灯します。
- ・白色はネットワークアイコンになります。  
他の SHURE デバイスと接続されると点灯します。  
ネットワークコントロールを使用するには IP アドレスが有効になっている必要があります。
- ・赤色は赤外線受光部になります。  
ここに送信機側の赤外線受光部を合わせるとリンクできます。
- ・青色は上記の赤外線を同期する際のスタートボタンになります。  
これを押さないと同期は開始しません。

## 1.2 送信機

ULXD2 のスイッチなどの説明



図 3: ULXD2

- ・赤色は LCD パネルになります。  
詳細を設定したりする際にこのパネルに内容が表示されます。
- ・青色は赤外線受光部になります。  
ここに受信機側の赤外線受光部を合わせると同期できます。
- ・黄色は電源ボタンになります。  
上下に操作して頂くと電源が入ります。
- ・緑色は操作ボタンになります。 ON の時に表示される画面の状態を選んだり MENU 画面での項目の選択や決定を行えます。
- ・ピンクは電池を入れる部分になります。  
付属のアルカリ単三電池を 2 本入れて最大約 11 時間使用出来ます。

## 2 項目の説明

画面で操作する機材の詳細設定などの説明

### 2.1 受信機 HOME 画面

受信機の電源を入れた際に画面に写っている項目の説明をします。



図 4: 受信機 HOME 画面

左側から一番上は送信機に付けられる名前が表示されます。  
英語入力のみですが、好きに変更できます。

2 段目が現在受信しているグループとチャンネルを表示しています。  
写真ですとグループが B1、チャンネルも 1 になります。

3 段目の左は Gain のレベルになります。  
上記で説明した Gain 調整ボタンで音量を決めてください。

右のマークは送信機の電池の残量になります。  
この中身の黒いマークが少なくなると電池残量の低下を表します。

その下は現在受信している機材の名称が出てきます。  
写真では ULXD2 と繋いでいますのでその名前が出てきます。  
また文字が切り替わり Nm と出ますがこれは、RF の出力レベルになります。

## 2.2 受信機 MENU 画面

HOME 画面からコントロールホイールを押し込み下記の MENU 画面に移動します。  
移動すると複数項目があるのでそこで設定を変更します。

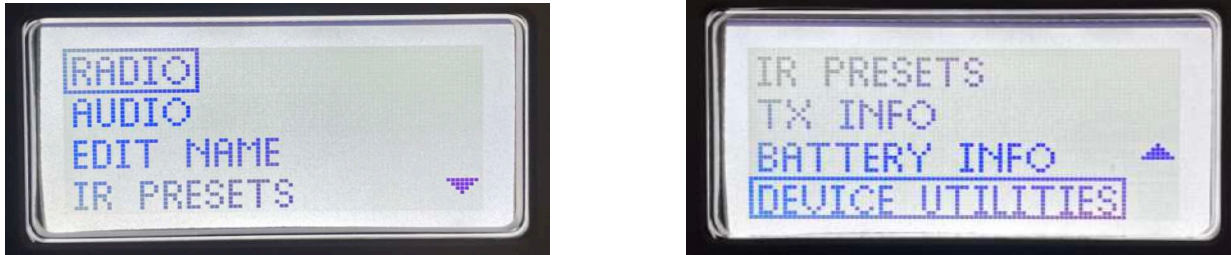


図 5: 受信機 MENU 画面

### 2.2.1 RADIO

ここはグループとチャンネル、周波数を変更出来ます。  
左側の G がグループ、右側の CH がチャンネルになります。  
その下の数字が現在の周波数になっており、  
グループとチャンネルの設定で都合が悪ければ周波数を直接変更する事が可能です。



図 6: RADIO

### 2.2.2 AUDIO

ここは Gain の調整と MUTE の ON/OFF が出来ます。  
Gain をコントロールホイール操作する事で変更出来ます。  
その下は MUTE の設定でここを ON にすると音声出力が出来なくなります。



図 7: AUDIO

### 2.2.3 EDIT NAME

ここは受信機に登録している名前を変更する事が出来ます。



図 8: EDIT NAME

### 2.2.4 IR PRESETS

ここは IR PRESETS の設定が出来ます。

ボディパック/ハンドヘルドかグースネック/バウンダリーと 2 種類から選ぶことが出来ます。



図 9: IR PRESETS

### 2.2.5 TX INFO

ここは受信しているトランスミッターの情報を確認出来ます。

- Model/トランスミッターの機材の種類
- Type/トランスミッターのタイプ (ボディパック/ハンドヘルド/グースネック/バウンダリー)
- Band/使用帯域
- Mute Mode/Mute Mode が ON/OFF どちらか
- Gain Offset/Gain Offset の値はいくつか

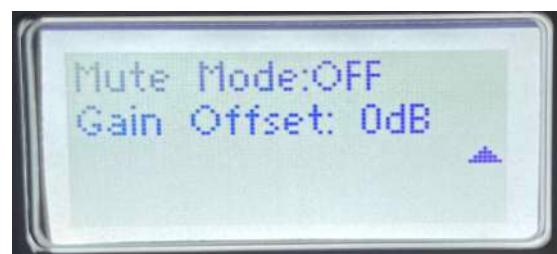


図 10: TX INFO



## 2.2.6 BATTERY INFO

ここは受信機の現在のバッテリーの状況が確認出来ます。  
電池マークの中にある黒い棒の分が残りの電池の数。  
TYPE は使用している電池の種類が表示されます。

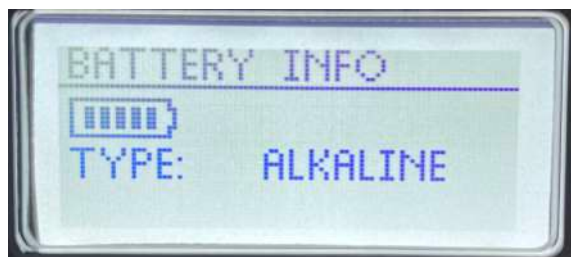


図 11: BATTERY INFO

## 2.2.7 DEVICE UTILITES

この項目を選択するとさらに細かい設定が変更出来ます。



図 12: DEVICE UTILITES

## 2.2.8 ENCRYPTION

AES-256 の暗号化を ON/OFF するか設定出来ます。

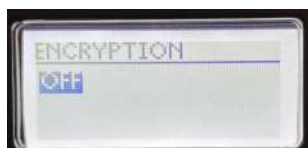


図 13: OFF

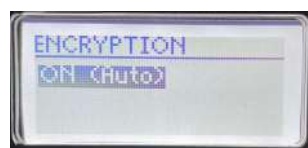


図 14: ON



図 15: ON (Manual)

## 2.2.9 ADVANCED RF

RF について詳細の設定が出来ます。



図 16: TX INFO



## 2.2.10 LOCK

HOME 画面での機材表面のボタン操作を制限する事が出来ます。

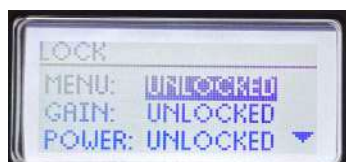


図 17: TX INFO



### 2.2.11 HOME INFO

HOME 画面で表示される情報を 5 パターンから選択出来ます。

図 18: パターン 1

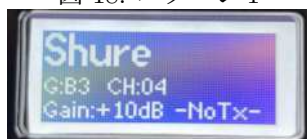


図 19: パターン 2

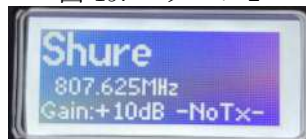


図 20: パターン 3



図 21: パターン 4



図 22: パターン 5



### 2.2.12 DISPLAY

画面のコントラストと明るさの設定が出来ます。



図 23: DISPLAY

### 2.2.13 NETWORK

ここで SHURE CONTROL を使用する際のネットワークを設定出来ます。

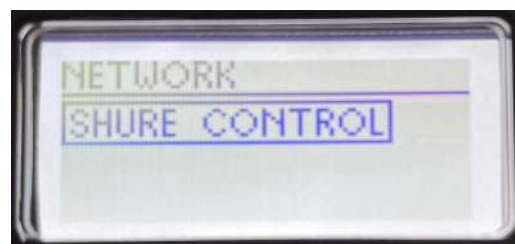


図 24: NETWORK

### 2.2.14 TX FW UPDATE

ここでファームウェアのアップデートが可能です。

ファームウェアのバージョンアップは所有者が行いますので基本的には触らないでください。

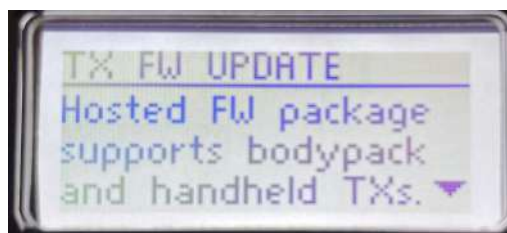


図 25: TX FW UPDATE

### 2.2.15 SYSTEM RESET

ここで本体のデフォルトの設定、更新などが出来ます。

本体設定は所有者が行いますので基本的には触らないでください。



図 26: NETWORK

### 2.2.16 VERSION

この場所では受信機本体の詳細な情報が確認出来ます。

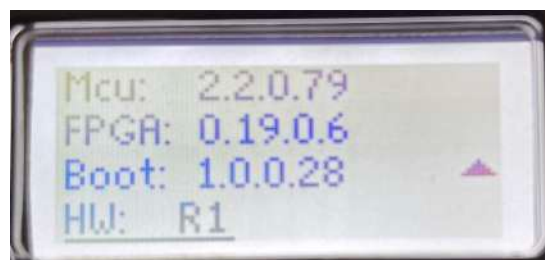


図 27: VERSION

## 2.3 送信機 HOME 画面

送信機の電源を入れた際に画面に写っている項目の説明をします。



図 28: 送信機 HOME 画面

一番上は送信機に付けられる名前が表示されます。  
英語入力のみですが、好きに変更できます。

2 段目が現在受信しているグループとチャンネルを表示しています。  
写真ですとグループが B1、チャンネルも 1 になります。

3 段目の電池マークが送信機の電池残量になります。  
黒いマークが少なくなると電池残量の低下を表します。

右側の Nm の文字は RF の出力レベルを表しています。

## 2.4 送信機 MENU 画面

HOME 画面から操作ボタンを右に押し込むと下記の MENU 画面に移動します。  
移動すると複数項目があるのでそこで設定を変更します。



図 29: 受信機 MENU 画面

### 2.4.1 RADIO

ここはグループ、チャンネル、周波数、RF 出力を変更出来ます。

左側の G がグループ、右側の CH がチャンネルになります。

その下の数字が現在の周波数です。

一番下が RF 出力の設定になります。



図 30: RADIO

## 2.4.2 UTILITY

UTILITY を選択するとさらに細かい設定が変更出来ます。



図 31: UTILITY

## 2.4.3 LOCK

この機能は操作を制限する事が出来ます。

MENU LOCK,POWER LOCK,MENU AND POWER LOCK の 3 種類があります。

MENU LOCK は操作ボタンを動かしても項目が変更されなくなります。

POWER LOCK は電源ボタンを OFF にしても電源が落ちないようになります。

MENU AND POWER LOCK は上記 2 つの機能を同時にロックします。



図 32: MENU LOCK



図 33: POWER LOCK



図 34: MENU AND POWER LOCK

#### 2.4.4 BATTERY

この機能は現在使用しているバッテリーの種類を選択します。

BATTERY を選択しさらにもう一度選択すると

アルカリ、ニッケル、リチウムから選択可能で種類に合った電力消費に切り替えられます。



図 35: RESET



図 36: ALKALINE



図 37: NiMH



図 38: LITHIUM

#### 2.4.5 VERSION

この場所では送信機本体の情報が確認出来ます。



図 39: VERSION



#### 2.4.6 RESET

ここでは送信機本体の設定を初期状態にする事が出来ます。



図 40: RESET

#### 2.4.7 MIC OFFSET

ここでは MIC OFFSET の設定が出来ます  
0db から 3db ずつ設定でき最大 21db まで可能です。



図 41: RESET

#### 2.4.8 MUTE MODE

この機能を使うと電源ボタンを OFF にすると電源は ON のまま音声だけ MUTE される状態になります。



図 42: RESET

### 3 実際の使用方法

実際に使用する方法などの説明

#### 3.1 グループ・チャンネルを指定する

##### 3.1.1 機材の準備

グループ・チャンネルを指定して設定していきます。  
受信機で現状グループ・チャンネル共に1になっているのを  
グループをB3、チャンネルを4にしていきます。



図 43: スタート設定

最初に写真の白い丸で囲われているコントロールホイールを操作します。  
左右に回すと変更、押し込むと項目選択が出来ます。

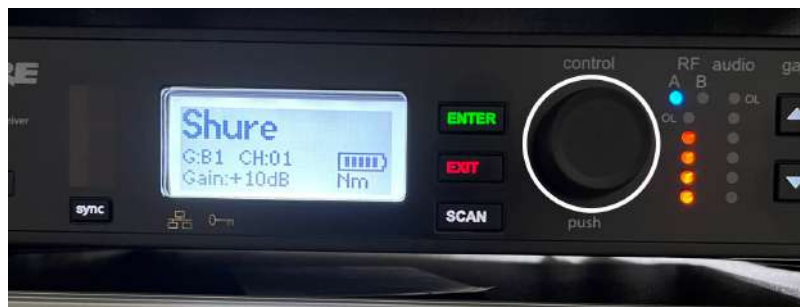


図 44: コントロールホイール

ホイールを一度押し込み MENU 画面を開きます。



図 45: MENU

RADIO の項目を選択したままもう一度ホイールを押し込みます。



図 46: RADIO

G と書いている部分を選択したまま  
ホイールを右側に回し目的の B3 に合わせたら、ホイールを押し込みます。



図 47: グループ変更

ホイールを押し込むと自動でチャンネルの方が選択されるので、  
目的の 4 に合わせ両方揃ったのを確認し緑に光っている ENTER を押して決定します。



図 48: チャンネル変更

HOME 画面で変更されているかを確認します。

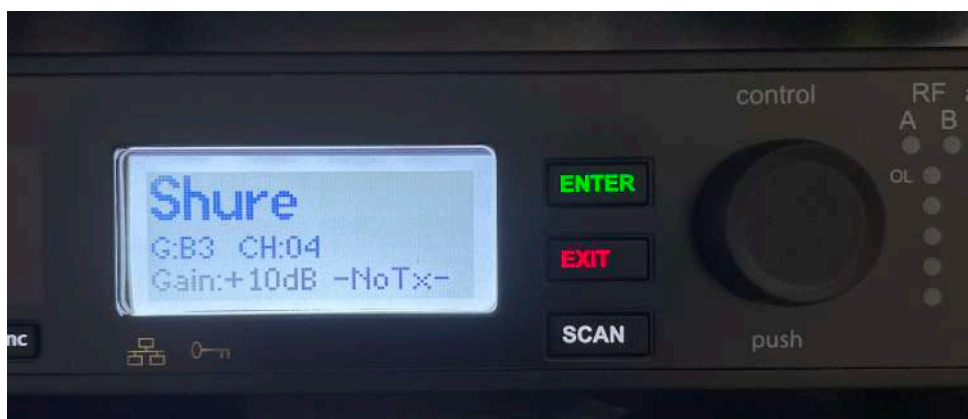


図 49: HOME 画面

確認が出来れば受信機側の設定は完了です。

送信機のグループ・チャンネル変更は受信機と赤外線同期をすることによって、  
簡単に設定する事が可能です。

赤色の部分が赤外線受光部でこの部分を受信機の赤外線受光部と向かい合わせると同期出来ます。



図 50: HOME 画面

### 3.1.2 同期作業

準備が出来たら受信機の sync ボタンを押します。  
すると下記の様な状態に画面が変わります。

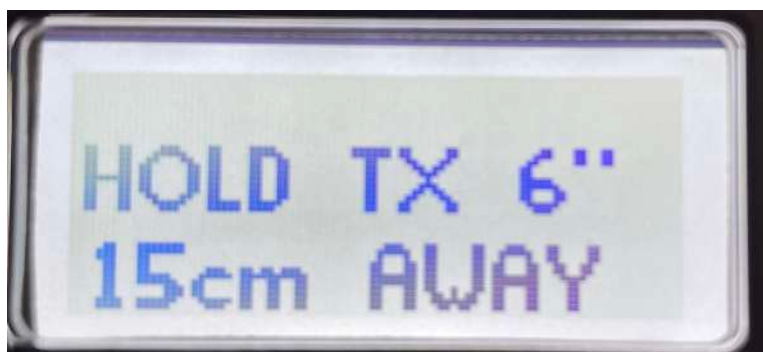


図 51: 同期待機画面

この画面の状態の間に送信機と受信機の赤外線受光部を写真の様に向かい合わせます。



図 52: 同期している図

成功すると左、失敗すると右の様な画面が表示されますので確認してください。

図 53: 成功

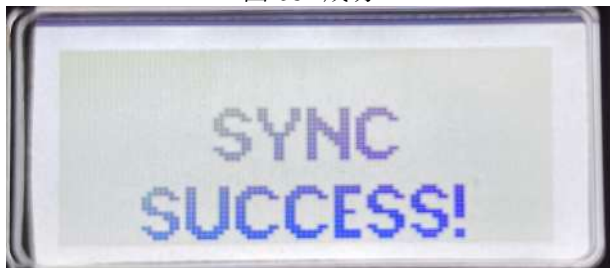
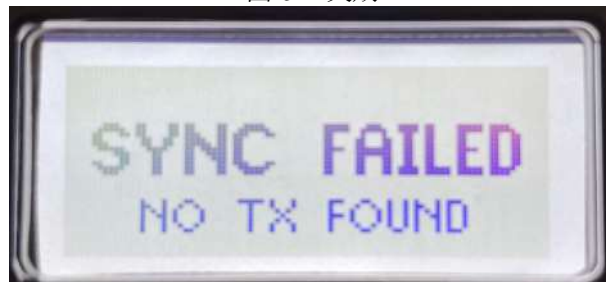


図 54: 失敗



同期が完了すると受信機が写真のような、状態になります。



図 55: 成功した受信機の画面

## 3.2 周波数を自分で決めて設定する

先ほど記載したグループとチャンネル決めて設定する以外にも、自分で電波を決めて周波数を合わせ使用する方法があり、806.125 809.750MHz から選んで周波数を決定出来ます。

### 3.2.1 機材の準備

受信機で周波数を決めて設定を行なっていきます。

今回は 809.750MHz に変更してみましょう。

最初に写真の白い丸で囲われているコントロールホイールを操作します。

左右に回すと変更、押し込むと項目選択が出来ます。



図 56: コントロールホイール

ホイールを一度押し込み MENU 画面を開きます。



図 57: MENU

RADIO の項目を選択したままもう一度ホイールを押し込みます。



図 58: RADIO

ホイールを 2 回押し込み周波数の部分まで持っていき、  
目的の 809 合わせホイールを押し込みます。

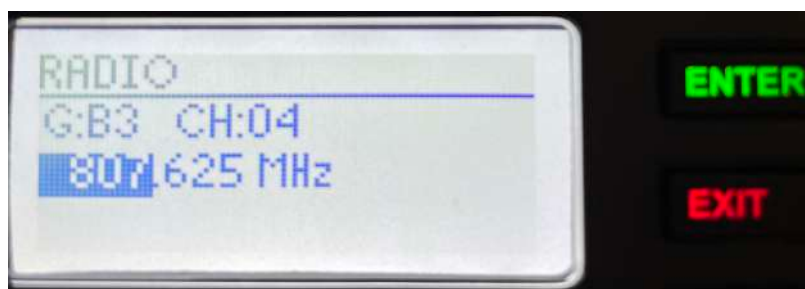


図 59: 周波数部分を選択する



ホイールを押し込むと自動で次が選択されるので、  
目的の 705 に合わせ両方揃ったのを確認し緑に光っている ENTER を押して決定します。



図 60: チャンネル変更

ENTER を押すと自動的に保存されるので画面が切り替わります。  
この状態になると問題なく出来ています。

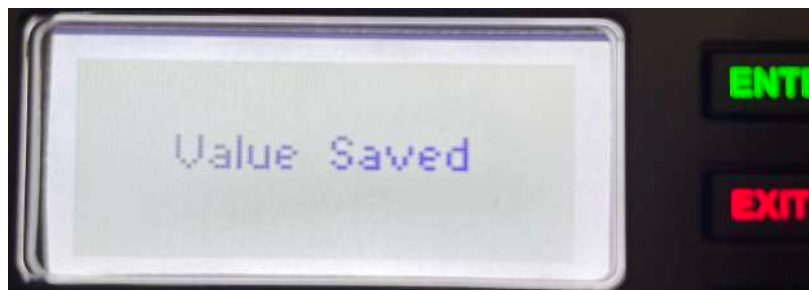


図 61: SAVE 画面

HOME 画面などで周波数情報を確認が出来れば受信機側の設定は完了です。

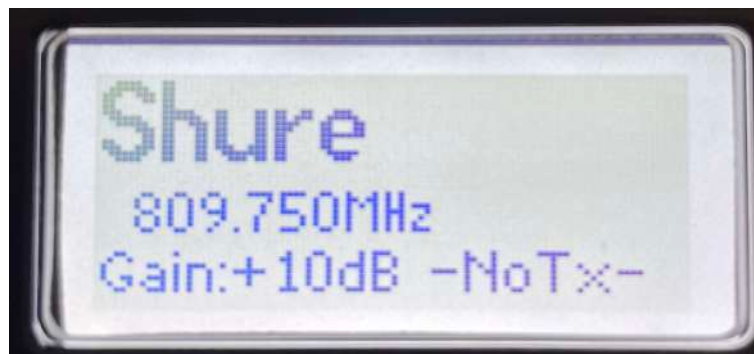


図 62: HOME 画面パターン 2

### 3.2.2 同期作業

準備が出来たら受信機の sync ボタンを押します。  
すると下記の様な状態に画面が変わります。

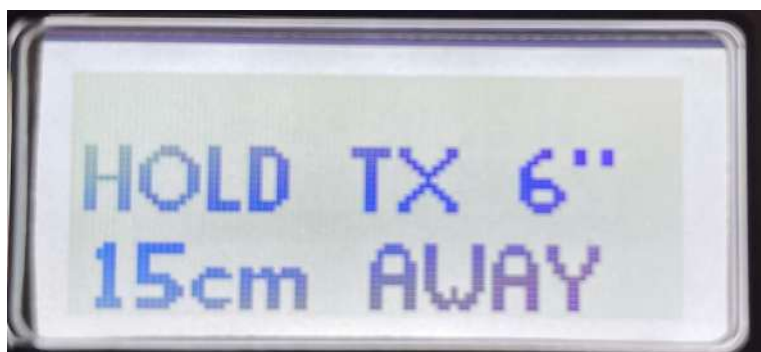


図 63: 同期待機画面

この画面の状態の間に送信機と受信機の赤外線受光部を写真の様に向かい合わせます。



図 64: 同期している様子

成功すると左、失敗すると右の様画面が表示されますので確認してください。

図 65: 成功

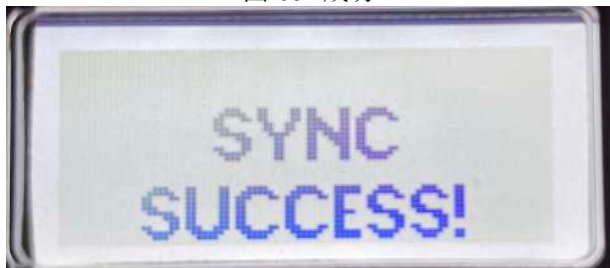


図 66: 失敗



同期が完了すると受信機が写真のような、状態になります。

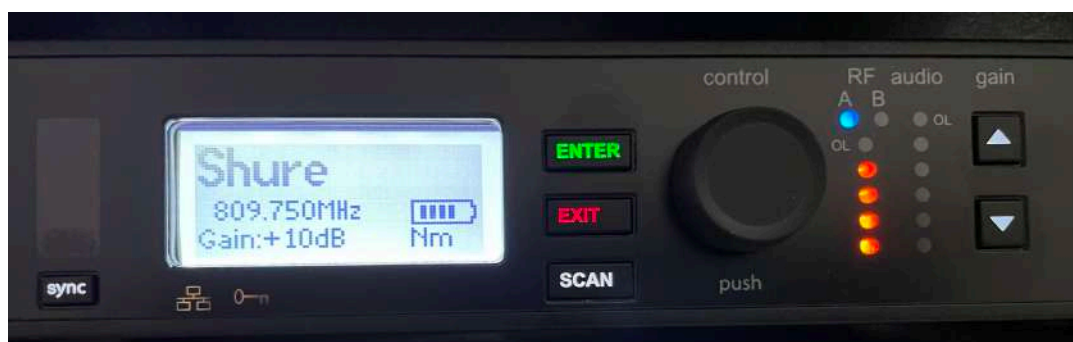


図 67: 成功した受信機の画面

これで周波数を自分で決めて設定する作業は完了です。

### 3.3 送信機側でグループ・チャンネル、周波数を変更する方法

上記では基本的に受信機側で周波数を変更して来ましたが、送信機側でも変更する事が可能です。これをする事により、受信機と同期をする手間が省けます。

#### 3.3.1 グループ・チャンネル変更方法

今回はグループを B6 チャンネルを 02 に変更してみます  
操作ボタンを右側に押し込み MENU を開き、  
そのまま RADIO を選択し操作ボタンを押し込みます。



図 68: MENU 画面

すると下記のような画面になるので、もう 1 度押し込みます。



図 69: MENU 画面

下記の画面になったらグループを選択し、  
上下に操作ボタンを動かし目的の B6 に合わせ右に押し込みます。



図 70: MENU 画面

グループを設定すると自動的にチャンネルに変更されるので、  
ここも上下に動かし目的の 02 に合わせ押し込みます。



図 71: MENU 画面

自動で HOME 画面に戻って来るのでグループ・チャンネルを確認し、  
変更出来ていれば完了です。



図 72: MENU 画面

### 3.3.2 周波数の変更方法

今回は周波数を 808.000 に変更してみます  
操作ボタンを右側に押し込み MENU を開き、  
そのまま RADIO を選択し操作ボタンを押し込みます。



図 73: MENU 画面

すると下記の様な画面になるので、  
一段下の周波数に合わせもう 1 度押し込みます。



図 74: RADIO

下記の画面になったらグループを選択し、  
上下に操作ボタンを動かして目的の 808 に合わせ右に押し込みます。

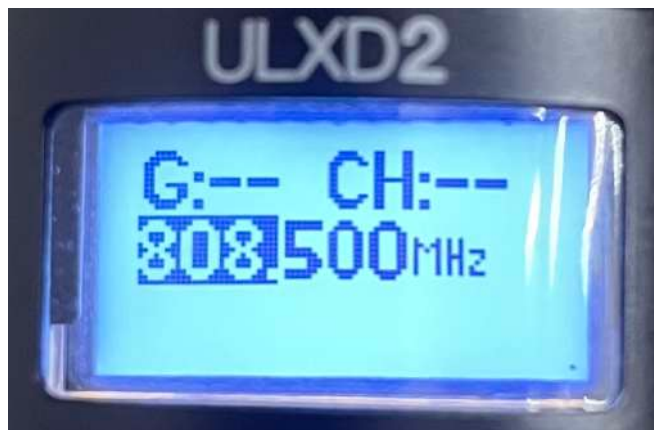


図 75: 周波数変更 1

操作ボタンを押し込みと自動で次が選択されるので、  
ここも上下に動かして目的の 000 に合わせ押し込みます。

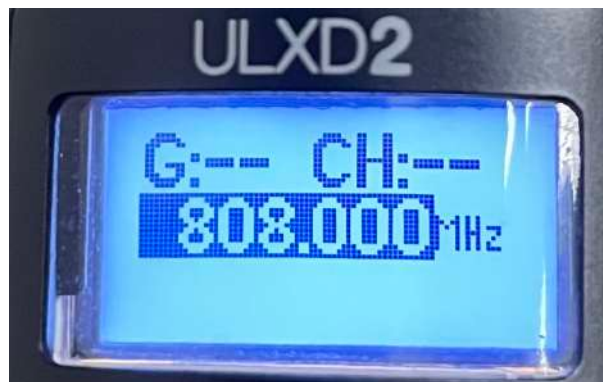


図 76: 周波数変更 2



自動で HOME 画面に戻って来るので周波数を確認し、変更出来ていれば完了です。

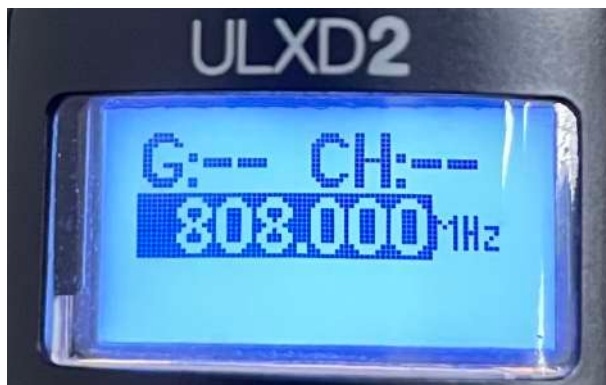


図 77: HOME 画面

## 4 トラブルシューティング

### 4.1 音が出ない

RF メーターが2つ以上点灯しているか確認してください。

RF メーターが点灯していない場合はアンテナが外れている、送信機と同期が取れていない、アンテナの受信エリア内に送信機がない場合があります。

また、RF メーター上部のインジゲーターが赤く点灯している場合は複数の送信機が干渉している可能性がありますので、被っている送信機の周波数もしくはグループを変更してください。



図 78: 要注意

### 4.2 音が途切れる

RF メーターが2つ以上点灯しているか確認してください

RF メーターが点灯していない場合はアンテナが外れている、アンテナの受信エリア内に送信機がない場合があります。

また送信機本体の故障も考えられますので予備があれば交換してください。